

有限会社日本海商事 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年3月30日

有限会社日本海商事
代表取締役 小平 仁美

◆経営方針

恒に信頼と信用を第一とし、心をこめてお届けすることで地域社会に貢献する。

◆目指す姿

地域に密着し、地域に欠かせない物流を通して地域社会に必要な不可欠な会社を目指す。

SDGsの達成に向けた取り組み

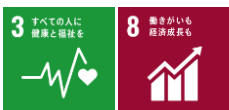
安全衛生

労働災害の防止や、社員の健康維持のために、社員一人一人へ安全・健康に関する様々な機会を提供することに努めます。

<具体的な取り組み>

安全衛生マネジメントシステムの推進（リスク評価、目標設定、対策実施など）／安全衛生・健康に関する研修（ヒヤリハット研修、禁煙教室等）の実施／安全衛生パトロールの実施

— 関連ゴール —



移動・輸送における環境配慮の推進

社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。

<具体的な取り組み>

ハイブリッドカー・電気自動車の導入／リモート会議の推進による、出張・営業訪問に伴うCO2排出量の削減／モーダルシフトの推進

— 関連ゴール —



シニア人材の活用

地域の高齢者が生き生きと暮らせるように、高齢者が定年を超えても継続して働ける機会を創出します。

<具体的な取り組み>

高齢者の再雇用制度を就業規則にて制定／再雇用のインセンティブ（福利厚生制度等）を明示／シニア人材の専門性・技術ノウハウの継承

— 関連ゴール —



森を活かす取り組み

自社の事業活動で排出する二酸化炭素の一部をカーボン・オフセットするため、鳥取県日南町有林J-クレジットを購入し、地球温暖化防止に貢献します。

<具体的な取り組み>

J-クレジットの推進

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

